

Hokkaido University News

北大時報

平成25年

6

No. 711 June 2013

名誉教授称号授与式の挙行

お知らせ

- ・平成25年度北海道大学公開講座（全学企画）2030年へのシナリオ
- ・北海道大学 緑のピアガーデン2013の開催予定



1 学生支援の取組について

■ 全学ニュース

- 2 名誉教授称号授与式の挙
- 2 「海外留学説明会」及び「短期語学研修プログラム説明会」等を開催
- 3 北海道大学交流デー（韓国）を開催
- 3 「北海道海外留学フェア2013」を開催
- 4 平成24年度北海道大学外国人留学生後援会の決算
- 5 NHK Eテレ「すイエんサー」の特別シリーズ「北海道大学からの挑戦状！リターンズ！！」の番組収録に協力
- 6 北大フロンティア基金
- 7 札幌キャンパスで第10回「キャンパス・クリーン・デー」を実施
- 8 北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙

■ 部局ニュース

- 9 和歌山研究林本館が有形文化財に登録
- 10 アメニティコートリニューアル オープニングセレモニーを挙
- 11 獣医学研究科附属動物病院がリニューアルオープン
- 12 獣医学部で「地方自治体等合同就職説明会」を開催
- 12 函館キャンパスで「春のキャンパス一斉清掃」を実施
- 13 メディア・コミュニケーション研究院公開講座「英語を学ぶ人—学習者の視点からの外国語教育—」が終了
- 13 北海道日本ハムファイターズが院内学級を訪問
- 14 総合博物館で大学院生が企画・開発したミュージアムグッズの販売開始



和歌山研究林本館が有形文化財に登録



アメニティコートリニューアル
オープニングセレモニー



北海道大学交流デー（韓国）



NHK Eテレ「すイエんサー」の
番組収録に協力

- 15 看護週間－「看護の日の夕べ」ほか様々な催しを実施
- 15 附属図書館で講習会「国連情報入門」を開催

■ お知らせ

- 16 平成25年度北海道大学公開講座（全学企画）2030年へのシナリオ
- 17 北海道大学 緑のピアガーデン2013の開催予定

■ 諸会議の開催状況 18

■ 学内規程 19

■ 表敬訪問 20

■ 人事 21

■ 訃報

- 22 名誉教授 朝比奈 英三 氏
- 22 名誉教授 石田 茂雄 氏

■ 資料

- 23 在籍学生数（平成25年5月1日現在）
- 25 平成25年度外国人留学生数（平成25年5月1日現在）
- 26 平成25年度国別外国人留学生数（平成25年5月1日現在）
- 27 平成24年度卒業・修了者の就職等状況一覧



獣医学研究科附属動物病院が
リニューアルオープン



北海道日本ハムファイターズが
院内学級を訪問

学生支援の取組について

学務担当理事 じった たかひこ 新田 孝彦



大学における教育は、人間的成長を促すという広い意味ではすべて学生支援に他なりません。ここでは学生相談や顕彰制度、課外活動支援など、狭義の学生支援に関する本学の主な取組を、実績や経費をも含めて紹介します。

学生相談

学生相談室は昭和61年に設置され、現在、札幌キャンパスに5名の常勤相談員と1名の学内委嘱教員、函館キャンパスに1名の常勤カウンセラーを配置しています。毎年延べ1,000名ほどの来訪者があり、学業問題から対人関係・性格など幅広い相談に応じています。健康問題については保健センターでも多くの相談を受けています。平成22年からは、学生による学生のための何でも相談室「ピア・サポート室」を開設し、これまでに延べ13,000名ほどの学生が利用しています。さらに今年度からは、障害学生への支援を充実させるために「特別修学支援室」を設置し、室長以下3名の相談員を配置して、多くの支援学生の協力を得ながら、カスタムメイドの支援を行うことにしています。他にも、高等教育推進機構では、ベテラン教員のアカデミック・アドバイザーやアカデミック・サポートセンターがきめ細やかな学修指導を行っており、附属図書館とピア・サポート室が協力した学部選択支援事業「少年よ、学部を選べ」も好評です。

顕彰制度

本学には、多くの奨学金・奨励金や顕彰の制度があります。

最も新しいものは、平成24年に開始した「北海道大学フロンティア奨学金」(学部2年次以上・大学院生：30名程度に月額各5万円/1年間、学部1年次：5名程度に月額各5万円/10月から半年間)です。他の奨励金や表彰が何らかの意味で「成績」を条件としているのに対して、この奨学金は将来、社会の各分野においてリーダーとして活躍する人材の育成を目的に、本学の「フロンティア精神」を体現しようとする学生の「高い志」を応援するものであり、佐伯 浩前総長の強い発意のもとで創設されました。

これに対して最も古い歴史を誇るのが、全学教育における英語の成績優秀者に贈られる「北海道大学レーン記念賞」

(6名程度に記念メダルと各1万円の図書カード)で、前身の「レーン記念奨学金」の第1回授与は昭和40年でした。

この他、学部1年次における学業成績優秀者を対象とした「北海道大学新渡戸賞」(89名に各20万円)、2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木 章先生を記念して設けられた全学教育科目「自然科学実験」の成績優秀者に対する「北海道大学鈴木章科学奨励賞」(6名程度に各3万円)、卒業時の成績優秀者に対する「公益財団法人北海道大学クラーク記念財団・クラーク賞」(50名に各5千円の図書カード)、大塚榮子名誉教授を記念して博士課程最終年次の女子学生に贈られる「北海道大学大塚賞」(10名に各50万円)があります。

さらに、課外活動や社会活動を対象としたものには、全国レベルあるいは海外において優れた成果を挙げた団体や個人に贈られる「北大えるむ賞」(団体・個人ともに各10万円)、都道府県規模で活躍した団体や個人に贈られる「北大ベンハロー賞」(団体2万円・個人5千円の図書カード)があり、これら奨学金・奨励金等の総額は年間4,000万円ほどになります。

課外活動支援

学生の課外活動に対しては、遠征費などの直接的支援として体育会系・文化系サークルに総額600万円以上(平成24年度)を補助していますが、体育館やサークル会館などの維持経費、福利厚生施設や学生寮の運営経費は1億2,000万円ほどにのびります。また平成13年度から、当時の中村 睦男総長の発意により、学生の自主性・創造性を尊重し、学修・研究意欲を促すための取組として「北大元気プロジェクト」事業が始まり、例年25件前後(平成24年度は730万円)を採択し、学生の元気を応援しています。函館キャンパスに関しては、水産学部への学生支援や北農寮の管理経費などを含め、別途2,000万円余りを支援しています。

こうした学生支援のための原資は、一般運営財源の他、北大フロンティア基金やクラーク記念財団からの寄附など様々ですが、学生支援をさらに充実させるためにも皆様の北大フロンティア基金へのご協力をお願いいたします。

■全学ニュース

名誉教授称号授与式の挙



名誉教授称号授与式出席者一同

先に本学名誉教授に決定された方々(40名)に対する称号授与式を、6月6日(木)午前11時から学術交流会館講堂において執り行いました。

当日出席された19名の名誉教授一人ひとりに、山口佳三総長が称号を授与した後、長年にわたるご尽力に感謝の言葉が述べられました。閉式後は記念撮影が行われました。

また、引き続きファカルティハウスエンレイソウ「レストランエルム」において、道内在住の名誉教授と部局長・役員との懇談の場として企画された名誉教授懇談会が薬学研究院を幹事として行われました。

懇談会には、名誉教授、部局長、役員合わせて69名が出席され、南 雅文薬学研究院長の開会の辞に始まり、山

口総長の挨拶と乾杯、担当理事による大学の状況報告、新旧の名誉教授のスピーチがあった後、三上 隆理事・副学長の乾杯、「都ぞ弥生」斉唱へと続き、南薬学研究院長の閉会の辞で盛会のうちに懇談会を終えました。

(総務企画部人事課厚生労務室、薬学研究院・薬学部)

「海外留学説明会」及び「短期語学研修プログラム説明会」等を開催

国際本部において、5月20日(月)に「海外留学説明会」及び「短期語学研修プログラム説明会」を開催しました。

説明会では、国際支援課から、本学の留学制度の概要や本学が提供する短期語学研修プログラムについて説明を行った後、短期語学研修プログラムの参加者2名からそれぞれの体験談が披露され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

このほか、5月14日(火)には、国際教育交換協議会(CIEE)による海外ボランティア説明会を、また、5月31日(金)には、留学ジャーナルのキャリアカウンセラーによる就職活動と留

学に関するセミナーを開催しました。

国際本部では、上記のように、海外留学説明会を定期的に開催する他、地域別・プログラム別説明会や各種セミナーを充実させるなど、北大生の留学をより身近なものとするため、情報提

供に努めています。

国際本部では、留学相談も行っていますので、留学希望の学生にご紹介いただければ幸いです。

(国際本部国際支援課)



国際教育交換協議会(CIEE)による海外ボランティア説明会の様子



韓国・東義大学校への留学について(短期語学研修プログラム体験談)

北海道大学交流デー（韓国）を開催

国際本部では、共同教育・研究及び学生交流を更に促進するため、5月8日（水）にソウル市立大学校において北海道大学交流デーを開催しました。

ソウル市立大学校は、ソウル市が設立・運営する公立大学で、7大学、8大学院等を有し、学生約11,000名が在籍する総合大学です。

北海道大学交流デーは、ソウル市立大学校の国際教育学院内の留学生や留学を希望する学生が集まるグローバルラウンジにおいて開催されました。まず、同大学出身で、本学に留学後、工学研究院の教員となった黄 仁姫准教授から、本学の留学体験の紹介が行われ、続いてソウルオフィスの金 秀淵事務補助員が本学の概要説明を行いました。その後、本学の紹介を行うためのブースを設置し、訪れる学生に本学

の情報提供や資料の配付を行いました。

今回のイベントでは、説明会、ブース訪問の学生合わせて約70名の参加がありました。

また、5月9日（木）には、韓国忠清北道で開催された廃棄物資源循環学会の会場において、北海道大学のブースを設置し、本学の紹介を行いました。本学会には、韓国及び日本の研究者、学生約400名が参加し、本学からは工学研究院の教職員及び学生9名が参加し、研究発表等を行いました。

今後もソウルオフィスでは、韓国における教育・研究機関等との連携拡大、教員や学生の相互交流の促進、卒業生ネットワークの構築を行い、幅広い面での交流を強化していきます。

（国際本部国際連携課）



本学の紹介をする黄准教授



北大ブースでの留学相談の様子

「北海道海外留学フェア2013」を開催



ブースでの相談風景

国際本部において、5月25日（土）に財団法人日本英語検定協会主催による「北海道海外留学フェア2013」を開催しました。

本フェアは、昨年に引き続き実施したもので、アメリカ大使館・日米教育委員会、ブリティッシュ・カウンシル等の各国大使館及び各国の政府機関等が参加し、海外留学についての情報提

供を行いました。第2回目の今回は、参加国・参加機関が増加し、アメリカ・ブラウン大学に留学中の日本人学生による留学セミナーが行われるなど、内容もより充実したものとなりました。

留学フェア当日は、200人以上の参加者が会場を訪れ、各団体のブースでは熱心に相談する参加者の姿が見ら



オーストラリア留学の魅力について
（オーストラリア大使館）

れ、一部の団体のセミナーは満席になるほどの盛況ぶりでした。

国際本部は、海外留学説明会を定期的に開催する他、地域別・プログラム別説明会や各種セミナーを充実させるなど、北大生の留学をより身近なものとするため、情報提供に努めています。

国際本部では、留学相談も行っていますので、留学希望の学生にご紹介いただければ幸いです。

（国際本部国際支援課）

平成24年度北海道大学外国人留学生後援会の決算

「北海道大学外国人留学生後援会」は平成15年4月に発足し、10年が経過しました。

この間、多くの方々に本後援会にご加入いただき、ご協力、ご支援をいただきましたことを本誌面をお借りしてお礼申し上げますとともに、平成24年度決算をご報告します。

さて、本後援会の事業は、留学生の賃貸住宅入居に伴う連帯保証、留学生の入院に伴う連帯保証、留学生の疾病

及び不測の事故等に対する経済的支援並びに留学生支援団体に対する経済的支援等を行うものであり、特に留学生の賃貸住宅入居及び入院に伴う連帯保証事業は、指導教員及び留学生の精神的・労力的負担の軽減に役立っているところです。これに加えて、平成20年に、一時金貸付制度を創設し、臨時に資金が必要になったときに5万円を限度として貸付を行い、当面の生活の安定に寄与することとしました。これも

ひとえに皆様のご協力とご支援の賜と感謝しております。

なお、皆様の会費は北大フロンティア基金の寄附金として取り扱うこととなっており、2千円を超える場合は税法上の優遇措置を受けることができません。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(国際本部国際支援課)

平成24年度北海道大学外国人留学生後援会決算書

自) H.24.4.1

至) H.25.3.31

1. 収入の部 (平成25年3月31日現在)

単位: 円

事 項	予 算 額	決 算 額	備 考
前年度からの繰越	35,508,534	35,508,534	
会費	3,759,600	3,332,400	6月期徴収額 1,672,800 12月期徴収額 1,659,600
立替払い返戻金	0	0	0件
一時金貸付金返戻金	0	0	0件 (23年度貸付分で履行期限が24年度のもの)
収入合計	39,268,134	38,840,934	

2. 支出の部 (平成25年3月31日現在)

単位: 円

事 項	予 算 額	決 算 額	備 考
留学生の賃貸住宅入居に伴う連帯保証に係る支援	1,000,000	416,951	家賃等の立替払い 4件
留学生の入院に伴う連帯保証に係る支援	1,000,000	0	
留学生の疾病等に対する経済的支援	500,000	0	
留学生の不測の事故等に対する経済的支援	7,000,000	1,218,637	
留学生を支援する団体に対する経済的支援	500,000	495,075	
予備費	29,268,134	0	
支出合計	39,268,134	2,130,663	

3. 差引額

単位: 円

翌年度に繰越		36,710,271	
--------	--	------------	--

NHK Eテレ「すイエんサー」の特別シリーズ 「北海道大学からの挑戦状!リターンズ!!」の番組収録に協力



収録会場の様子：トロフィーを手にする工学系チーム



学生の挑戦を見守る馬場研究院長と永田教授(左から)

4月18日(木)、学术交流会館において、NHK Eテレの科学(?)エンターテインメント番組「すイエんサー」の特別シリーズ、「北海道大学からの挑戦状!リターンズ!!」の収録が行われ、本学工学系チームがすイエんサーガールズチームと再対決を行いました。

1月22日(火)に工学部オープンホールで行われた同番組の公開収録では、本学工学部チームがすイエんサーガールズチームと「ピンポンフォール対決」を行い、辛くも勝利しました。しかし、大混戦だったこともあり、両チームの強い希望で再戦が実現しました。

この対決の様子は、6月11日(火)・18日(火)・25日(火)19:25~19:50の3回にわたり、全国放送されました。

知力の格闘技に全力で挑んだ工学系チームのメンバーは、前回の対決にも参加した染谷慎人さん(情報科学研究科修士1年)、坂本達真さん(情報科学研究科修士1年)、アナスタシア・アマンダさん(工学部4年)、初参加の東 武志さん(工学部4年)の4名

です。

そして、今回の戦いは「ピンポンリレー対決」であり、かつてない難易度の高い課題でした。A3サイズの厚紙を5枚使って構造物を作り、構造物の中央付近で2つのピンポン玉をリレーさせ、床につくまでの時間の長さを競うというものです。さらに、最初に転がしたピンポン玉は構造物上にとどめなくてはならず、ピンポン玉をスタートさせる位置の高さは50cm以上という条件付きでした。

前回1時間だった製作時間は5時間に延び、工学系チームはチーム力を駆使して製作に挑み、構造物を完成させました。作り上げた構造物は、ハーフパイプの形状を利用したもので、ピンポン玉を何度も往復させて時間をかせぐという抜群の発想力が活かされました。また、ピンポン玉のリレー部分にはストッパーを作り、厚紙を節約したシンプルな構造を考案・採用しました。

ピンポン玉は、調整を重ね組み合わせた構造物のハーフパイプゾーンから

リレーゾーン、最後はロングジグザグゾーンを通してゴールします。

今回の収録には、工学研究院の馬場直志研究院長と永田晴紀教授、陸上競技部も参加して番組を盛り上げ、両チームの熱い戦いを見守りました。

両チームとも知の限りを尽くした結果、今回の対決を制して勝利に手にしたのは、工学系チームです。43秒15というベストタイムを記録しました。途中経過の発表では、工学系チームに10秒もタイムを離されていたすイエんサーガールズチームは、39秒66を記録するなど、当初の差から大幅に記録を縮め、アイデアと更なる工夫を凝らし、底力を発揮していました。

今回の収録は工学系事務部の協力を得て実施され、成功裡に終了しました。今後も様々な機会を活用し、本学の魅力をアピールする取組みを行っていききたいと思います。

(総務企画部広報課)



構造物の調整を行う工学系チーム



対戦相手のすイエんサーガールズチーム



勝利の喜びを体いっぱい表現する工学系チームの4名

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を發揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動することとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報	14,698件	2,720,279,734円
基金累計額（5月31日現在）	教職員の寄附率	30.7%（1,189件／3,878人）

5月のご寄附状況

法人等6社、個人95名の方々から4,818,000円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいているの方々のご芳名、総合博物館への銘板の掲示について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

寄附者ご芳名（法人等）

DSファーマアニマルヘルス株式会社、学校法人 吉田学園、さくらば動物病院、日本甜菜製糖株式会社、柏楊印刷株式会社、北大サッカークラブ東京支部 若手グループ

寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	青田 昌秋	青沼 美隆	阿部 茂	荒川 政幸	池上 僚一	石井紀恵子	石川 昌男
石塚真由美	伊藤 秀雄	入澤 秀次	岩波 凡人	上田 敦	上野 一馬	蝦名 克美	大森あけみ
小澤 洋一	小内 透	小原 大和	金川 眞行	神山 勝博	木野村六十夫	木村 園子 ドロテア	日下 大器
栗原 正仁	小嶋 國利	五味 烈	近藤 哲也	斉藤 久	榊原 信宏	佐久間 崇	清水池義治
瀬戸 務	瀬名波栄潤	高橋 光彦	棚川伊知郎	土家 琢磨	椿 元一	寺澤 睦	栃内 康史
豊田 威信	中川 三郎	中原由紀子	長谷川和義	稗田 義雄	藤川 秀樹	古田 学	古野 幾万
戸来 真希	星原 英造	松田 彰	村上 重美	安井 敬一	山内 隆嗣	山崎允悠子	山崎 賢司
山下 健一	吉田 広志	鷲尾 祥温					

銘板の掲示（20万円以上のご寄附）

（法人等）

DSファーマアニマルヘルス株式会社

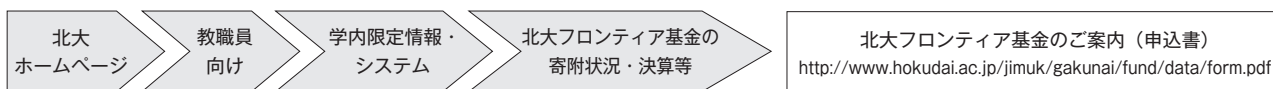
（個人）

青田 昌秋、青沼 美隆、阿部 茂、小澤 洋一、小嶋 國利、松田 彰

ご寄附のお申し込み方法

①給与からの引き落とし

申込書は、本学ホームページの「学内限定情報・システム」からダウンロードし、ご記入の上基金事務室に提出してください。



②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお渡しします。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、事務局財務部経理課収入担当にご持参ください。申込書は、本学ホームページから上記①の要領でダウンロードしてご記入いただくか、各部署事務担当及び事務局財務部経理課収入担当にご用意していますので、ご利用ください。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室（事務局・学内電話 2017）

（総務企画部広報課）

札幌キャンパスで第10回「キャンパス・クリーン・デー」を実施

全学一斉の構内清掃作業「キャンパス・クリーン・デー」が、5月13日（月）午後に実施されました。あいにくの小雨で肌寒い天気でしたが、学生、教職員、ボランティア等を含め、約3,100人の参加がありました。

はじめに、山口佳三総長から「札幌キャンパス内の緑地環境の保全を目的とした環境配慮活動であり、皆様のご

協力をよろしくお願いします。」と挨拶があり、その後清掃作業が開始されました。キャンパス内で収集されたごみは分別の上、廃棄処分し、木の枝については、一部を薪として再利用する予定です。

今年で10回目を迎えたキャンパス・クリーン・デーは、今後も継続する予定としています。来年以降につきまし

ても、多くの方々の参加をお願いします。

環境に対する意識が高まる中、皆様のご協力により、キャンパス内のごみは確実に減少しています。ありがとうございました。

（施設部環境配慮促進課）



百年記念会館周辺のごみ取り作業をする山口総長、村田直樹理事・事務局長



中央道路緑地帯のごみ取り作業をする教職員

北海道大学私費外国人留学生特待プログラム 留学生採用証書授与式を挙



採用証書を手に記念撮影

北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生に採用され4月に入学した留学生に対し、同特待プログラム留学生採用証書授与式を、4月25日（木）に国際本部大会議室で行いました。

授与式には、上田一郎国際本部長を始め関係者が出席し、上田国際本部長から留学生一人ひとりに採用証書が手渡されました。

この特待プログラムは、平成20年度から特待制度特待プログラム奨学金としてスタートしましたが、平成24年度から、検定料、入学料及び授業料を不

徴収にする制度に改正されたもので、国際的な貢献に寄与する人材を育成することを目的として、学業成績が極めて優秀で、かつ、本学の教育研究に深い関心を持つ大学院の研究科及び学院の博士後期課程（医学研究科、歯学研究科、獣医学研究科にあつては博士課程）に入学する私費外国人留学生を対象としています。

現在は、今回の4月入学者の7名を含め、25名の特待プログラム留学生が在籍しています。

（国際本部国際支援課）



上田国際本部長から採用証書を授与

■ 部局ニュース

和歌山研究林本館が有形文化財に登録

和歌山研究林は1925年、清流で有名な古座川の源流部に約430haの森林を購入して設置されました。以来、本学で唯一、道外にある研究施設として、北海道では見られない照葉樹林やスギ・ヒノキ人工林に関する研究教育活動を続けてきました。近年は、本学のみならず様々な大学の研究・教育、小中高の教員向け講習、地元の小中学生や一般向けの体験学習などに幅広く利用されています。森林だけでなく、熊野地方の社会や民俗文化に関する研究教育の拠点としても使われるようになってきました。

和歌山研究林の事務所及び宿泊施設となる庁舎は1927年に建てられました。この建設に当たっては周辺のシイ

やケヤキなどが使われたようです。その造りは洋館風の2階建て部分と、和風の1階建て部分が隣り合う和洋折衷様式です。86年経った現在でも間取りがほとんど変わっておらず、建てられた当時の様子がよく保存されています。庁舎のある平井集落の中でも、ひととき目を引くこの建物はランドマーク的な存在となっています。地元のお年寄りの中には子供の頃、階段の手すりを滑り台がわりに遊んだ思い出を語られる方もおられ、地域に親しまれてきたことがうかがえます。こうしたことが評価され、耐震補強された2階建て部分が和歌山研究林本館として、本年3月に国の登録有形文化財になりました。これまでは庁舎を公開する取り

組みは行っていませんでしたが、国の文化財になったことを契機に、一般向けの公開事業を実施することを検討しています。

和歌山研究林は最寄の南紀白浜空港から車で80分の距離にあり、少し不便なところではありますが、調査研究や実習・研修に、この歴史的な建物を利用していただければと思います。なお、最寄のJR駅まで研究林バス等での送迎も行っています。詳しくは和歌山研究林のホームページをご覧ください。庁舎の紹介映像やパンフレットも公開しています。

(北方生物圏フィールド科学センター)



ケヤキ無垢板でつくられた階段



和歌山研究林本館の全景

アメニティコートリニューアル オープニングセレモニーを挙行



“森の小径”でのテープカット

北海道大学病院では、アメニティコートのリニューアルオープンを祝して、5月31日（金）にオープニングセレモニーを挙行了しました。

セレモニーでは、寶金清博病院長が「患者さんにとっては売店やレストランに行けるようになることがひとつの回復の証し。患者さんがほっとくつろげる場所にしていきたい。」と挨拶し、続いてローソン、ロイヤルコントラクトサービス、B-Rサーティワンアイスクリーム、タリーズコーヒージャパンの各代表からの来賓挨拶の後に、ローソン代表者、寶金病院長、北川善政病院長補佐、石田 晋病院長補佐、川畑いづみ看護部長によりテープカットが行われました。

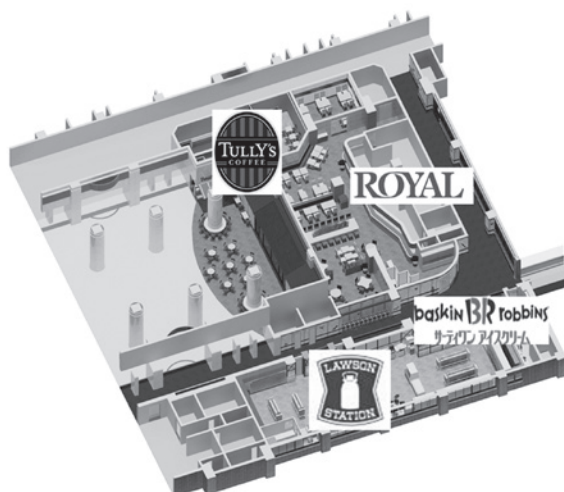
今回のリニューアルは、本院の目標である「患者本位」の患者さんにやさしい病院であることを目指して、福利施設の充実を図ったものです。5月17日（金）にはレストラン「ロイヤル」が先行オープンし、6月3日（月）にコンビニエンスストア「ローソン」、 「サーティワンアイスクリーム」がオープンしました。8月には「タリーズコーヒージャパン」がオープンする予定です。

アメニティコートは、北海道の自然をモチーフにした“森の小径”をコンセプトとして、壁紙やフロア材、店舗の内装までコーディネートされており、患者さんや利用者の方に少しでも楽しんで食事や買い物をしてもらえるよう配慮されています。また、各店舗においてもサービスへの工夫がされています。ローソンでは従来のコンビニエンスストアの機能に加え“ホスピタルローソン”として医療材料や入院生活に必要な日用品などを取り扱って

ます。ロイヤルでは1食500kcal前後の食事で話題の「タニタ食堂」のメニューを提供します。サーティワンアイスクリームでは、季節に合わせた商品を取り揃え、お見舞いの品としても利用できるよう用意しています。

オープン後すでに多くの方にご利用いただいております。今後も患者さんや職員だけでなく、地域の方の憩いの場となるよう願っています。

（北海道大学病院）



アメニティコート全体図

獣医学研究科附属動物病院がリニューアルオープン



動物医療センター外観

獣医学研究科附属動物病院が、5月20日（月）にリニューアルオープンしました。

新動物病院（通称：動物医療センター）は、近年の来院患者数の増加に伴い、待合室、診察室及び処置スペースなどで常態化していた混雑の解消と、帯広畜産大学との共同獣医学課程における参加型臨床実習の実践の場として獣医学教育の強化充実を図ることを目的に、鉄筋2階建て総面積3,000㎡で、旧動物病院の北側に新築移転しました。

動物医療センターは、診察室が12室、手術室が5室、手術室と双方向コミュニケーションが可能な手術見学室などが配備されており、今年度中には、高エネルギー放射線治療装置（リニアック）の導入も予定されております。

5月28日（火）には竣工披露式及び祝賀会が催され、学内関係招待者など約100名が参加しました。

竣工披露式では、稲葉 陸研究科長の挨拶に続き、山口佳三総長、板倉智敏名誉教授から祝辞があった後、滝口満喜動物病院長の案内により、動物医

療センターの施設披露が行われました。引き続き開催された祝賀会では、伊藤茂男特任教授の発声により祝宴が始まり、金川弘司名誉教授の乾杯で動物医療センターの完成を盛大に祝いました。

今後、動物医療センターは、最新の診断・治療設備を備えた動物医療機関として、獣医療の高度化と臨床獣医学分野の人材育成をより一層推進していくことが期待されます。

（獣医学研究科・獣医学部）

附属動物病院 竣工披露式



挨拶する稲葉研究科長

附属動物病院 竣工披露式



挨拶する山口総長



施設見学する招待者

獣医学部で「地方自治体等合同就職説明会」を開催

5月8日（水）午後1時から4時まで、獣医学部5・6年生を中心に、本学部・研究科の学生を対象とした「地方自治体等合同就職説明会」を、獣医学部主催により開催しました。本説明会は、地方自治体等の獣医師職を目指す本学部・研究科の学生へ円滑に情報を提供することを目的とし、地方自治体等が個別に来学して実施していた説明会を集約するため、平成23年度より企画したものです。

本年度で3度目の試みであり、学生並びに自治体等がどの程度参加するか不安もありましたが、過去に説明会を実施しているところを中心に、様々な地

方自治体等に参加を募ったところ27団体より賛同をいただきました。当日は学部5・6年生の授業を休講にしたこともあり、学部3年生から博士課程4年生まで57名の学生が個別ブースで熱心な説明を受けました。また、参加自治体等にも大変好評で、来年以降の実

施についても要望を受けました。

今後とも、より一層のキャリア支援体制の充実・強化を図るため、来年度の実施内容等についても、改めて検討していく予定です。

（獣医学研究科・獣医学部）



熱心に説明を受ける学生



就職説明会の様子

函館キャンパスで「春のキャンパス一斉清掃」を実施

札幌キャンパス・クリーン・デーと同時開催となる5月13日（月）に、函館キャンパスを対象とした春の構内清掃作業を実施し、学生及び教職員合わせて、約300名の参加がありました。

今年は、例年よりも気温が上がらず、肌寒い日が続いていましたが、この日は天候にも恵まれ、当初の予定通り1時間程度で清掃作業を終了することができました。

平成20年度から始めた「春のキャンパス一斉清掃」も今年で6年目を迎え、積極的に参加する学生が多く見受けられ、環境美化の意識が向上しているとともに、年々ゴミが少なくなってきたことを実感できました。

なお、9月には「秋のキャンパス一斉清掃」を実施する予定です。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



清掃作業を行う教員と学生



清掃作業を行う職員



近隣住民との共同作業



清掃の成果

メディア・コミュニケーション研究院公開講座 「英語を学ぶ人—学習者の視点からの外国語教育—」が終了

メディア・コミュニケーション研究院では、平成25年度公開講座「英語を学ぶ人—学習者の視点からの外国語教育—」を、5月13日（月）から6月3日（月）まで毎週月曜日、全4回にわたり実施しました。

本講座では、学習者の視点から主に英語を中心とした外国語教育の歴史や研究に関する内容はじめ、学習ストラテジー（方略）、学習スタイル、動機づけなどの外国語学習において個人差を生む要因が取り上げられました。

講義では英語学習に関する興味深い

内容が添えられ、受講生は熱心に聞き入っていました。英語の教育や学習に対する関心が高くなりつつある中、本講座のテーマに対する関心の高さがうかがえました。

講座の最終日には、3回以上出席した34名の受講生が担当講師から修了証書を手渡され、本講座は盛況のうちに無事終了しました。

（国際広報メディア・観光学院、
メディア・コミュニケーション研究院）



講義風景



受講生への修了証書授与

北海道日本ハムファイターズが院内学級を訪問

5月24日（金）に北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督と選手4名が、病氣と闘う子供たちを勇気づけるために院内学級を訪問しました。

院内学級への訪問は今回で7回目を数え、毎年、入院中の子供たちが大変楽しみにしているイベントです。今年は、栗山監督のほか、鶴岡慎也選手、大野奨太選手、西川遥輝選手、鍵谷陽

平選手の5名が来院されました。

監督と選手は、寶金清博病院長への挨拶の後、本院6階の運動療法室で、院内学級の子供たちとキャッチボールや記念撮影会、質問タイムなどを通して触れ合いました。

院内学級の児童代表からは、応援のメッセージが書き込まれたフラッグが栗山監督に手渡され、監督から子供た

ちにファイターズグッズのプレゼントが贈られました。

また、病室から出られない子供たちについては、小児科病棟に足を運び、病室一室ずつ回って子供たちを励ましてくれました。

（北海道大学病院）



院内学級児童とキャッチボールする（右から）鍵谷選手・西川選手



栗山監督・選手と記念撮影する寶金病院長（左から3人目）・高橋久美子副看護部長（右から3人目）

総合博物館で大学院生が企画・開発したミュージアムグッズの販売開始



グッズを開発した学生たち

2012年度大学院共通科目「博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価」(担当:湯浅万紀子准教授, 藤田良治助教)を受講した大学院生が, 2つのグッズを開発し, 総合博物館内にあるミュージアムショップにて販売が開始されました。この授業は, ミュージアムショップのグッズの企画・制作を行っている株式会社エルムプロジェクトのスタッフにも参加していただき, 企画や販売方法の他にグッズ制作業者との交渉なども学ぶ社会体験型の実践的な内容となっています。

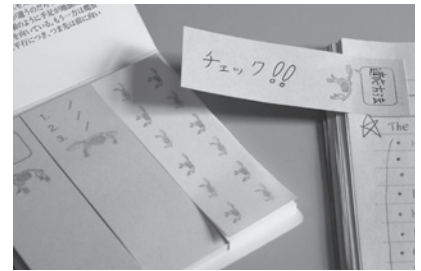
制作された2つのグッズは, 「愛んしゅたいんDOOOOME(ドーム)! コースター」(2枚組270円税込と「骨骨(コッコツ)勉強 デスモスチルスふせん」(30枚×3種1セット350円税込)です。「愛んしゅたいんDOOOOME! コースター」の企画・開発は乗原 彩(文学研究科), 沼崎麻子(理学院), 吉川一真(理学院)の3名が担当しました。コースターは, ミュージアムショップで販売されておらず, 需要が見込まれて価格設定も手ごろに抑えることが可能と判断し, 開発することに決めました。コースターのテーマは, 館内の見所である中央階段の吹き抜け

「アインシュタインドーム」を設定しました。ドーム壁面の朝・昼・夕・夜を意味する4つのレリーフが持つ「昼夜もなく学問研究に励む」という意味を反映し, 4つのレリーフのモチーフと北大生の一日をイメージした図柄をあしらいました。購入者には, 大学院生の制作による, アインシュタインドームの名前の由来やレリーフの意味, 商品名の由来を付した解説書をお渡ししています。

「骨骨勉強 デスモスチルスふせん」の企画・開発は小林知恵(文学研究科), 塩谷和樹(理学院), 古井 空(理学院), 高木優風花(環境科学院)の4名が担当しました。当館3階に展示されている絶滅した哺乳類デスモスチルスについてはこれまで多くの研究がなされてきましたが, 何をどのように捕食していたのか依然として不明であったり, 多様な形態復元がなされていたりと研究課題が多く残されています。展示されている骨格標本を見て終わりにしてしまうのではなく, その裏にある研究の「面白さ」, 「難しさ」を知ってもらいたいという思いから, これをグッズのテーマに選びました。そして, デスモスチルスの骨格復元の多様性に着目し, 2人の日本人研究者に



愛んしゅたいんDOOOOME!コースター



骨骨勉強 デスモスチルスふせん

よる復元図をモチーフすることに決定しました。更に, 利用場面を検討して勉強に役立つ機能を付与し, インデックス・参照用に吹き出しをつけたタイプ, 復習・やり直しの記録用に復習回数を印字し日付欄をつけたタイプ, 自由にメモを取れるシンプルなタイプの3パターンをセットにしました。コースターと同様に, 購入者には, 大学院生の制作によるデスモスチルス研究を解説したパンフレットをお渡ししています。

大学院生はショップの店員を務める学生のアドバイスも受けながら, 店頭レイアウトも担当し, プレスや来店者向けにグッズを説明する日を設けてメディアの取材対応も行いました。更に, 来店者へのインタビューを実施し, 本プロジェクトの成果を評価していきます。ぜひ本学の大学院生が企画・開発したグッズをショップでお手にとり, ご意見をお寄せいただければと思います。制作過程と大学院生のコメントは当館ホームページと公式Facebookでご紹介しています。

(総合博物館)

看護週間ー「看護の日の夕べ」ほか様々な催しを実施

毎年5月12日（ナイチンゲール生誕日）は「看護の日」、また、この日を含む週間は「看護週間」として制定されています。今年も本院では、看護の重要性について理解を深めようと様々な催しが行われました。

5月9日（木）にはふれあい看護体験が行われ、札幌市内及び近郊の高校生が看護師とともに実際の看護業務を体験しました。また、同日夜には、「第23回看護の日の夕べ」が松居喜郎副病院長の挨拶で開会し、札幌市立北辰中学校による合唱及び札幌市立幌東中学校によるフルート演奏が行われました。

このミニコンサートの様子は、本院アメニティホールに設置されたライブカメラを通じて、病室の無料チャンネル

でテレビ放映されました。

「第23回看護の日の夕べ」は、盛況の中、川畑いづみ看護部長の挨拶で幕を閉じました。

5月10日（金）から15日（水）までは、1階アメニティホールにて患者参加型の展示を行い、また、医科外来ホールや歯科外来ホールで看護・くすり・栄養・歯の衛生・運動療法等、患者さんの相談コーナーを設置しました。

看護週間にちなんだ催しは、今年で23回目を数えますが、「看護」という言葉のもつ重さを再認識する貴重な機会として定着しています。

（北海道大学病院）



ふれあい看護体験の様子



札幌市立北辰中学校による合唱

附属図書館で講習会「国連情報入門」を開催



講習会の様子

附属図書館では、4月17日（水）、22日（月）、24日（水）に講習会「国連情報入門」を開催しました。

附属図書館は、国連寄託図書館に指定されており、国連資料の所蔵・提供を行い、また国連の広報活動にも協力しています。近年、国連資料（図書、雑誌）や国連文書（議事録、会議資料等）は電子化が進んでおり、インター

ネットを介してアクセスできるようになっています。そうした国連情報へのリテラシーの向上を目的に、講習会を企画しました。

同一内容で3回実施した講習会では、図書館職員が国連文書の探し方や読み方等を解説しました。学生、教職員、一般市民合わせて51名の参加がありました。講習後に受け付けたアン

ケートからは「国連に興味はあっても、中々アクセスしにくいので、学べてよかった」、「今後の情報収集に役立てたい」といった声が寄せられました。

なお、当日の資料については、HUSCAP (<http://hdl.handle.net/2115/52583>) に掲載しています。

（附属図書館）

■お知らせ

平成25年度北海道大学公開講座（全学企画）2030年へのシナリオ

主催：北海道大学

講座内容

少子高齢化や経済の低迷、財政危機、近隣諸国との緊張関係など閉塞感が日本社会を覆う中、この先どんな未来像を描きうるのかを考える。

実施期間

平成25年7月1日（月）～平成25年7月29日（月） 18：30～20：30

定 員：100名程度

受講料

全8回の講義を受講 5,000円
特定回の講義を受講 1回あたり1,500円 ※ 既納の受講料はお返しできませんのでご了承ください。

会 場：北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室（札幌市北区北17条西8丁目）

受講資格：18歳以上の方であればどなたでも受講できます。（学歴・職歴は問いません）

修了証書：6回以上受講した方には、最終講義終了時に修了証書を交付します。

道民カレッジ：本講座は道民カレッジ連携講座として指定されています。（教養コース 16単位）

申込手続きの流れ

- ① はじめに、定員の超過の有無をご確認ください。（希望される講義の開催3日前まで）
↓
・定員に余裕がある場合
- ② 専用の払込票により、郵便局または銀行等の窓口で受講料をお支払いください。その際、控えとして受け取ったE票は、受講申込み時に必要ですのでなくさないようご注意ください。
↓
- ③ E票を裏面に添付した受講申込書を直接窓口へご持参いただくか、郵送でお申し込みください。

問い合わせ・申込先

北海道大学学務部教務課（教育推進担当）

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構1階6番公開講座窓口 電話011-706-5567（直通）

日程・講義題目等

日 程	講 義 題 目	講 師
第1回 7月1日（月）	グローバリゼーションと教育の変容	教育学研究院 教授 小内 透
第2回 7月4日（木）	エネルギーと人間の関わり -これまで、そしてこれから-	理学研究院 准教授 野寄 龍介
第3回 7月8日（月）	実産業を支える画像技術	情報科学研究科 教授 金子 俊一
第4回 7月11日（木）	日本の物価を考える	経済学研究科 准教授 工藤 教孝
第5回 7月18日（木）	北海道の都市と交通の将来展望	工学研究院 准教授 岸 邦宏
第6回 7月22日（月）	わが国の医療と薬の近未来像とは	薬学研究院 教授 武田 宏司
第7回 7月25日（木）	2030年、そのとき北海道の食料とエネルギーは？	地球環境科学研究院 准教授 藤井 賢彦
第8回 7月29日（月）	宗教とソーシャル・キャピタル -人口減少社会における宗教の役割-	文学研究科 教授 櫻井 義秀

各回とも、18時30分から20時30分まで（講義時間約90分、質疑・応答約30分）

（学務部教務課）

北海道大学 緑のビアガーデン2013の開催予定

「緑のビアガーデン」は、本学キャンパスの豊かな緑の夕べを一般市民に開放することで、本学をより身近に感じていただくことを目的として、平成18年度から毎年開催しています。多くの皆様が訪れて好評を得ており、本年度もこれまでと同様に「緑のビアガーデン」を開催します。

開催期間は、7月30日（火）から8月2日（金）までの4日間で、開催時間は、午後5時から8時30分まで、開催場所は、例年どおり本学百年記念会館及びその周辺を予定しています。

本年も、多くの皆様にお手軽な値段で楽しんでいただけるよう準備をしています。

お知り合いの方々をお誘いのうえ、「緑のビアガーデン」に多数ご参加いただくようお願いします。

(総務企画部広報課)

昨年の開催風景



■ 諸会議の開催状況

役員会（平成25年 5月14日）

議 案・就業規則関連規程の一部改正について

協議事項・全学運用教員の措置について

- ・諸規則の一部改正について

報告事項・北海道大学緑のピアガーデン2013の開催について

- ・夏季における勤務時間中の「クールビズ」について
 - ・英文ホームページのリニューアルについて
 - ・共同利用・共同研究拠点の認定結果について
 - ・平成24年度資金の運用状況について
 - ・会計検査院による会計実地検査の結果について
 - ・平成24年度決算速報について
 - ・研究費の不正使用等防止に係る検収体制等強化の実施状況について
 - ・平成25年度会計監査人候補者の選定について
-

役員会（平成25年 5月22日）

議 案・諸規則の一部改正について

- ・博士課程教育リーディングプログラムの申請について
-

教育研究評議会（平成25年 5月22日）

議 案・国立大学法人北海道大学教育研究評議会における懲戒審査に関する申合せについて

- ・諸規則の一部改正について

報告事項・北海道大学緑のピアガーデン2013の開催について

- ・平成24年度北海道大学外国人留学生後援会の決算について
 - ・共同利用・共同研究拠点の認定結果について
 - ・COI（センター・オブ・イノベーション）プログラムについて
-

役員会（平成25年 5月27日）

議 案・平成25年度老朽化防止対策経費事業について

- ・北海道地区国立大学の教養教育連携実施に関する協定の締結について
- ・女性教員の積極的採用のための方策について
- ・平成25年度中期目標達成強化経費第一次決定事業について
- ・平成26年度特別経費事前説明事業について

報告事項・冬季操業調整契約（自家発電対応型）の報告について

- ・平成25年度総長室事業推進経費について
 - ・平成26年度特別経費 文部科学省事前説明の状況について
-

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しております。

■ 学内規程

国立大学法人北海道大学職員給与規程等の一部を改正する規程の一部を改正する規程

(平成25年5月15日海大達第86号)

31歳以上39歳未満の職員で平成19年1月1日、平成20年1月1日又は平成21年1月1日に昇給等をした職員について、昇給抑制を受けた回数等を考慮し、号俸を調整することに伴い、所要の改正を行ったものです。(平成25年4月1日適用)

北海道大学学位規程の一部を改正する規程

(平成25年5月27日海大達第87号)

学位規則の一部を改正する省令(平成25年文部科学省令第5号)により、平成25年4月1日から、①大学は、博士論文の内容の要旨及び審査の要旨をインターネットの利用により公表すること、②博士の学位を授与された者は、博士論文の全文をインターネットの利用により公表することとされたことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学創成研究機構規程の一部を改正する規程

(平成25年6月1日海大達第88号)

創成研究機構研究部の流動研究部門を廃止すること並びに次世代の科学技術を担う研究推進能力及びリーダーとしての能力を有する若手研究者を育成するため、研究人材育成推進室を設置することに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学教育学部規程の一部を改正する規程

(平成25年6月1日海大達第89号)

本学部において、授業科目の廃止及び新設を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

表敬訪問

国内

年月日	来訪者
25.5.8	全日本空輸株式会社札幌支店長 飯塚 弘衛 氏
25.5.21	日本航空株式会社 北海道地区支配人 藤田 克己 氏
25.5.27	キリンビールマーケティング株式会社 一行
25.5.30	第14代北海道大学総長 廣重 力 氏



全日本空輸株式会社札幌支店長 飯塚 弘衛 氏(左から2人目)



日本航空株式会社 北海道地区支配人 藤田 克己 氏(左側)



キリンビールマーケティング株式会社 一行



第14代北海道大学総長 廣重 力 氏

(総務企画部広報課)

海外

年月日	来訪者	来訪目的
25.5.15	ザンビア共和国 保健省・大学研究教育病院院長 Lackson Kasonka博士	両国の交流に関する懇談
25.5.21	湖南大学(中華人民共和国) 劉 克利 校務委員会主席	両大学の交流に関する懇談



ザンビア共和国 保健省・大学研究教育病院院長
Lackson Kasonka博士(中央右)



湖南大学(中華人民共和国) 劉 克利 校務委員会主席
(右から3人目)

(国際本部国際連携課)

■人事

平成25年5月16日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【技術職員等】		
北海道大学病院薬剤部薬剤師	井 川 恵 介	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	内 山 数 貴	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	大 瀧 香菜子	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	菅 優 子	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	佐 賀 綾 奈	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	坂 本 達 彦	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	佐 近 亜梨奈	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	澤 田 真 衣	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	関 谷 沙 希	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	堤 竹 蔵	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	富 田 遥	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	政 田 一 樹	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院薬剤部薬剤師	吉 川 佳 那	北海道大学病院薬剤部薬剤助手
北海道大学病院診療支援部臨床検査技師	鈴 木 晴 佳	採用

平成25年5月31日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【技術職員等】		
(辞職)	村 田 藍	北海道大学病院看護部看護師
	米 屋 香 織	北海道大学病院看護部看護師

平成25年6月1日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【教授】		
(転出)		
鳥根大学大学院総合理工学研究科教授	波 場 直 之	大学院理学研究院教授
【准教授】		
大学院理学研究院准教授	内 田 毅	大学院理学研究院助教
【講師】		
大学院理学研究院講師	小 林 厚 志	大学院理学研究院助教
(辞職)	WERAWAN MANAKUL	大学院工学研究院講師
【助教】		
大学院文学研究科助教	妙 木 忍	採用
大学院法学研究科助教	戸 井 健太郎	採用
(出向)		
J A 北海道厚生連帯広厚生病院	千 葉 健太郎	北海道大学病院助教
【主任】		
(辞職)	藤 沢 忍	北海道大学病院医事課医療支援室主任
【技術職員等】		
水産学部附属練習船おしよ丸甲板員	金 澤 貴 洋	水産学部附属練習船おしよ丸甲板員
水産学部附属練習船うしお丸甲板員	平 尾 真 也	水産学部附属練習船おしよ丸甲板員
北海道大学病院看護部看護師	鈴 木 佳世子	採用
北海道大学病院看護部助産師	杉 原 美 樹	採用

訃報

名誉教授 ^{あさひな}朝比奈 ^{えいぞう}英三 氏
(享年98歳)



名誉教授 朝比奈英三氏は、平成25年5月26日に逝去されました。ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、昭和14年3月北海道帝国大学理学部動物学科を卒業、同16年12月北海道帝国大学低温科学研究所助手に採用され、その後、同24年12月北海道大学低温科学研究所助教授、同33年4

月同教授に昇任されました。その間、昭和32年3月東京大学において理学博士の学位を授与されています。

昭和53年4月、本学を停年により退官後、北海道大学名誉教授の称号を授与され、また、同57年4月から6年間、北海道栄養短期大学教授を務められました。

研究面においては、低温生物学の基礎的研究に務められ、また、後進の指導育成をするとともに、この分野の創成期より発展に尽力されました。特に、動植物細胞の凍結過程の顕微鏡による精細な観察を積み重ね、種々の条件下での凍結過程を詳細に捉え、生物細胞一般の凍結現象に物理化学的説明を与え、我が国における低温生物学の基礎の確立に貢献されました。これらの優れた研究業績に対して、昭和52年11月、

北海道文化賞が授与されています。

研究活動以外でも学内外で活躍され、昭和44年4月から6年間、低温科学研究所長を務められ、同研究所の管理・運営はもとより、当時の雪氷対策に関する社会的要請や寒地環境問題に十分応えるものとして、同研究所の振興に寄与されました。

このように、同氏は低温生物学の分野において多くの優れた研究業績を上げ、我が国の学術上の進歩及び後進の指導育成に尽力されました。これらの功績により、平成2年春の叙勲において勲三等旭日中綬章を受章されました。

ここに謹んで先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(低温科学研究所)

名誉教授 ^{いしだ}石田 ^{しげお}茂雄 氏
(享年92歳)

名誉教授 石田茂雄氏は、平成25年6月3日に逝去されました。

先生は大正9年6月5日に富山県に生まれました。昭和18年9月に北海道帝国大学農学部林学科を卒業され、同大学大学院在学中の同22年12月に同大学に助手として採用されました。その後、同25年に助教授、同40年に教授への昇任を経て、同59年に定年退職されるまで北海道大学に勤続され、退職後には北海道大学名誉教授の称号を授与されました。

本学在任中、先生は林産学、中でも木材理学の研究と教育に尽力されました。キャリアの初期には、北海道の郷土樹木であるトドマツを主な対象として樹木の凍裂に関する研究に取り組み

ました。そして、凍裂の発生には低気温という外的因子だけではなく、樹の内部で水分が変則的に集積して生成される水食い材という湿潤な材部の存在が内的因子として不可欠であることを発見しました。これら凍裂に関する一連の研究は、学位論文としてまとめられ、昭和33年に林学博士が授与されました。

その後、昭和37年から翌年にかけての欧州(スウェーデン等)留学を機に、木材細胞壁の微細構造の研究に転じました。この研究分野において走査型電子顕微鏡を世界に先駆けて導入し、多くの成果を挙げられました。とりわけ高弟の大谷 諄氏(元北海道大学教授・故人)との名コンビで進めた細胞壁の修飾構造に関する研究論文では、他の追随を許さない美しい顕微鏡画像を示し、木材解剖学関連の専門家に強

烈な印象を与えました。昭和54年には、その功績を称えてInternational Academy of Wood ScienceのFellowに選出されています。

定年退職後には、外観による林木の内部診断学の基礎として、樹皮の写真撮影に没頭されました。撮影行は札幌市内を自転車で巡ってというのが基本的なスタイルでしたが、時には学科の卒業生を頼っての遠征もありました。また、北方林業会会長を4年あまりお務めになり、その間、北海道における林業や林産業に関する伝承を収集した『北海道樹木語録』を編纂されました。平成6年11月には長年の功績に対して勲二等瑞宝章を授与されています。

先生の功績とお人柄を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(農学院・農学研究院・農学部)

資料

在籍学生数（平成25年5月1日現在）

- (注) 1 () 内は女子の内数, < > 内は女子の比率（それぞれ赤字で表記）。
 2 [] 内は2年次編入学定員で外数。
 3 [] 内は3年次編入学定員で外数（工学部は高専卒業者の受入れ）。
 4 以下の表は、すべて外国人留学生数を含む。

学部

学部等名	入学定員	在籍者数							聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講学生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人] [10人]	1人	192人	203人	254人	一人	一人	650人 (306<47.1%>)	11人	11人	38人	37人	747人 (371<49.7%>)
教育学部	50 [10]		48	61	76	—	—	185 (87<47.0%>)	1	19	7	3	215 (105<48.8%>)
法学部	200 [10] [10]		212	229	280	—	—	721 (245<34.0%>)	1	2		9	733 (252<34.4%>)
経済学部	190		203	195	243	—	—	641 (172<26.8%>)	2	1	7	19	670 (190<28.4%>)
理学部	300		330	311	329	—	—	970 (236<24.3%>)	1	4	1	3	979 (238<24.3%>)
医学部	287 [5] [20]		328	321	298	104	89	1,140 (483<42.4%>)				1	1,141 (484<42.4%>)
歯学部	53		62	43	57	48	60	270 (102<37.5%>)			2		272 (102<37.5%>)
薬学部	80	1	91	84	80	30	30	316 (116<36.7%>)		1			317 (116<36.6%>)
工学部	670 [10]		742	741	756	—	—	2,239 (294<13.1%>)		2		13	2,254 (298<13.2%>)
農学部	215	5	232	223	256	—	—	716 (238<33.2%>)	5	1		15	737 (252<34.2%>)
獣医学部	40		42	41	41	39	43	206 (84<40.8%>)				1	207 (84<40.6%>)
水産学部	215	2	235	214	212	—	—	663 (183<27.6%>)		4	5	11	683 (191<28.0%>)
総合教育部	—	2,677	—	—	—	—	—	2,677 (773<28.9%>)					2,677 (773<28.9%>)
合計	2,485 [15] [60]	2,686	2,717	2,666	2,882	221	222	11,394 (3,319<29.1%>)	21	45	60	112	11,632 (3,456<29.7%>)

※学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

研究所等

研究所等名	研究生	特別研究学生	日本語・日本文化 研修生	日本語研修生	合計
観光学高等研究センター	2人	人	一人	一人	2人(0<0.0%>)
低温科学研究所	1		—	—	1(0<0.0%>)
電子科学研究所	1		—	—	1(0<0.0%>)
スラブ研究センター	2		—	—	2(1<50.0%>)
情報基盤センター	2		—	—	2(0<0.0%>)
国際本部			35	13	48(31<64.6%>)
総合博物館	3		—	—	3(1<33.3%>)
北方生物圏フィールド科学センター	1		—	—	1(1<100.0%>)
合計	12	0	35	13	60(34<56.7%>)

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数。

生命科学学院の博士課程の上段は3年制博士後期課程、下段は4年制博士課程の学生数。

■大学院

研究科等名	修士課程 (博士前期)				専門職学位課程				博士課程 (博士後期及び博士一貫)					聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講生	特別研究生	合計		
	入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数											
		1年次	2年次	小計		1年次	2年次	3年次		小計	1年次	2年次	3年次							4年次	小計
文学研究科	90人	112人	136人	248人 (139(56.0%))	一人	一人	一人	一人	一人	35人	41人	41人	130人	一人	212人 (108(50.9%))	2人	4人	14人	0人	5人	485人 (262(54.0%))
法学研究科	20	14	27	41 (16(39.0))	80	29	23	25	168 (31(18.5))	15	9	16	25	—	50 (16(32.0))		3	10	4	4	280 (73(26.1))
経済学研究科	30	31	38	69 (26(37.7))	20	23	25	—	48 (8(16.7))	15	7	6	20	—	33 (10(30.3))			2	3	3	158 (50(31.6))
医学研究科	30	20	16	36 (18(50.0))	—	—	—	—	—	100	81	96	69	156	402 (99(24.6))			5		5	448 (122(27.2))
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	28	38	44	39	149 (57(38.3))			11			160 (61(38.1))
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	23	18	21	23	85 (28(32.9))			8			93 (29(31.2))
情報科学研究科	177	185	231	416 (25(6.0))	—	—	—	—	—	42	47	52	68	—	167 (25(15.0))			10	3	2	598 (52(8.7))
水産科学院	90	104	116	220 (44(20.0))	—	—	—	—	—	35	29	18	38	—	85 (25(29.4))					4	309 (72(23.3))
水産科学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						0 (0(0.0))
環境科学院	159	134	148	282 (73(25.9))	—	—	—	—	—	63	45	40	96	—	181 (56(30.9))					2	465 (129(27.7))
地球環境科学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			7			7 (2(28.6))
理学院	129	142	140	282 (45(16.0))	—	—	—	—	—	56	39	26	63	—	128 (26(20.3))	1				5	416 (72(17.3))
理学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			11			11 (2(18.2))
薬学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						0 (0(0.0))
農学院	150	179	196	375 (122(32.5))	—	—	—	—	—	50	35	39	69	—	143 (49(34.3))					1	519 (171(32.9))
農学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			6			6 (3(50.0))
生命科学学院	132	128	124	252 (73(29.0))	—	—	—	—	—	46	35	41	60	—	144 (51(35.4))					2	398 (125(31.4))
先端生命科学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	4	—	—	—						0 (0(0.0))
教育学院	45	45	61	106 (65(61.3))	—	—	—	—	—	21	14	21	60	—	95 (49(51.6))	1		1	1		204 (114(55.9))
教育学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			3			3 (1(33.3))
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—	13 (7(53.8))						13 (7(53.8))
国際広報メディア・観光学学院	42	44	56	100 (51(51.0))	—	—	—	—	—	17	18	16	43	—	77 (43(55.8))	1		2			180 (97(53.9))
メディア・コミュニケーション研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			11			11 (8(72.7))
国際広報メディア研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	4 (4(100.0))						4 (4(100.0))
保健科学院	26	46	39	85 (35(41.2))	—	—	—	—	—	8	13	13	15	—	41 (18(43.9))						126 (53(42.1))
保健科学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			6			6 (3(50.0))
工学院	326	351	359	710 (70(9.9))	—	—	—	—	—	69	49	67	80	—	196 (30(15.3))				2	5	913 (103(11.3))
工学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			8			8 (2(25.0))
工学研究科	—	—	1	1 (0(0.0))	—	—	—	—	—	—	—	—	17	—	17 (1(5.9))						18 (1(5.6))
総合化学院	129	158	146	304 (58(19.1))	—	—	—	—	—	38	43	34	37	—	114 (20(17.5))						418 (78(18.7))
公共政策学教育部	—	—	—	—	30	40	51	—	91 (20(22.0))	—	—	—	—	—	—				1		92 (21(22.8))
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					2	2 (1(0.0))
合計	1,575	1,693	1,834	3,527 (860(24.4))	130	133	149	25	307 (59(19.2))	680	560	586	972	218	2,336 (722(30.9))	2	10	112	16	41	6,351 (1,718(27.1))

(学務部教務課)

平成25年度外国人留学生数

【部局別】

学部等

平成25年 5月1日現在

部 局 名	国 費		外国政府派遣		私 費		合 計
	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	
文 学 部		1			1(1)	66(50)	68(51)
教 育 学 部					5(5)	10(9)	15(14)
法 学 部					2(1)	9(6)	11(7)
経 済 学 部					1(1)	24(15)	25(16)
理 学 部					8(5)	3	11(5)
医 学 部						1(1)	1(1)
歯 学 部					2(2)		2(2)
工 学 部	12(6)		17(2)		9(3)	13(2)	51(13)
農 学 部			1		2(1)	15(12)	18(13)
獣 医 学 部					1(1)	1	2(1)
水 産 学 部					5(2)	9(7)	14(9)
高等教育推進機構総合教育部	7(3)		5(3)		11(3)		23(9)
合 計	19(9)	1(0)	23(5)	0(0)	47(25)	151(102)	241(141)

大学院等

部 局 名	国 費				外国政府派遣				私 費				合 計
	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	
文 学 研 究 科	4(3)		9(2)	1	2(2)		18(15)		80(59)		32(21)	10(5)	156(107)
法 学 研 究 科			3(2)	1(1)	1(1)		7(3)	2	23(8)		18(6)	15(9)	70(30)
経 済 学 研 究 科	2(1)		1		1(1)		1	1	32(19)		7(6)	3(3)	48(30)
医 学 研 究 科	1		4(2)				4(2)		6(4)		12(7)		27(15)
歯 学 研 究 科			1								5(3)		6(3)
獣 医 学 研 究 科			18(8)	1			2(1)				14(6)	2	37(15)
情 報 科 学 研 究 科	4(2)		8(2)	4(1)	4(2)		14(3)		25(5)		29(7)	9	97(22)
水 産 科 学 研 究 院	2		8(3)		1(1)		6(2)		9(5)		14(6)	4(3)	44(20)
環 境 科 学 研 究 院	3(2)		9(5)		1		10(4)		19(11)		41(17)	2	85(39)
地 球 環 境 科 学 研 究 院				1								3(1)	4(1)
理 学 研 究 院	3(1)		8(3)	1	1		1(1)		5		15(4)	1	35(9)
農 学 研 究 院	16(7)		25(17)		3(1)		18(9)		19(14)		17(5)	1	99(53)
農 学 研 究 院												3(2)	3(2)
生 命 科 学 研 究 院	2(2)		23(6)		1(1)		5(3)	1(1)	7(1)		16(9)		55(23)
教 育 学 研 究 院					2(2)		2	1	36(31)		6(4)		47(37)
教 育 学 研 究 院												1	1(0)
国際広報メディア・観光学院	1(1)		4(1)				6(3)		35(26)		7(3)	2(2)	55(36)
メディア・コミュニケーション研究院				1(1)								9(6)	10(7)
保 健 科 学 研 究 院							1		4(3)				5(3)
保 健 科 学 研 究 院												2(2)	2(2)
工 学 研 究 院	17(2)		29(7)	2(1)	2		29(10)		31(9)		25(4)	7(3)	142(36)
工 学 研 究 院												3(1)	3(1)
工 学 研 究 科											2		2(0)
綜 合 化 学 研 究 院	2(1)		10(2)		2(1)		5(1)		4(1)		23(8)		46(14)
公 共 政 策 学 教 育 部											5(3)		5(3)
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部												2(1)	2(1)
ス ラ プ 研 究 セ ン タ ー												1(1)	1(1)
情 報 基 盤 セ ン タ ー												2	2(0)
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー				1									1(0)
合 計	57(22)	0(0)	160(60)	13(4)	21(12)		129(57)	5(1)	335(196)	5(3)	283(116)	87(40)	1,095(511)

日本語研修生等

国際本部留学生センター	日本語・日本文化研修生		日 本 語 研 修 生		合 計
	国 費	私 費	国 費	私 費	
	20(13)	15(13)	13(5)		48(31)

外国人留学生総数

学部留学生数	大 学 院 留 学 生			研究生等	日 本 語 研 修 生 日本語・日本文化研修生	留 学 生 総 数
	修士課程	専門職学位課程	博士課程			
89(39)	413(230)	5(3)	572(233)	257(147)	48(31)	1,384(683)

* () 内は女子を内数で示す。

* 修士課程には博士前期課程を、博士課程には博士後期課程を含む。

* 研究生等には特別研究学生及び特別聴講学生を含む。

(国際本部国際支援課)

平成24年度卒業・修了者の就職等状況一覧

1. 就職等状況

学部

平成25年5月1日現在

項目	文学部		教育学部		法学部		経済学部		理学部		医学部		歯学部		薬学部		工学部		農学部		獣医学部		水産学部		合計					
	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)			
(A) 卒業生数	(105)	(35)	(49)	(50)	(72)	(16)	(115)	(21)	(13)	(13)	(74)	(66)	(20)	(47)	(696)															
(B) 就職希望者数	197	65	202	195	300	114	177	54	57	30	694	222	42	219	2,568															
(C) 就職者数	(80)	(29)	(39)	(44)	(10)	(0)	(98)	(0)	(1)	(11)	(21)	(15)	(16)	(22)	(386)															
うち	144	52	134	168	47	0	132	1	5	28	93	55	36	65	960															
うち	(0)	(69)	(0)	(31)	(0)	(40)	(0)	(9)	(0)	(0)	(0)	(1)	(11)	(0)	(20)	(0)	(13)	(0)	(16)	(1)	(18)	(2)	(351)							
うち	(1)	119	(0)	44	(0)	113	(0)	152	(0)	35	(0)	0	(0)	130	(0)	1	(0)	3	(1)	28	(0)	87	(0)	47	(0)	35	(3)	55	(5)	849
うち	(29)	(11)	(14)	(26)	(2)	(32)	(0)	(7)	(12)	(9)	(11)	(7)	(16)	(7)	(160)															
うち	59	18	65	94	16	39	1	2	15	46	34	25	28	442																
うち														(0)																
うち														0																
(D) 就職率(%)	(86.3)	(89.7)	(79.5)	(90.9)	(90.0)	-	(100.0)	-	(0.0)	(100.0)	(95.2)	(86.7)	(100.0)	(81.8)	(90.9)															
昨年の就職率(%)	82.6	84.6	84.3	90.5	74.5	-	98.5	100.0	60.0	100.0	93.5	85.5	97.2	84.6	88.4															
昨年	(82.2)	(100.0)	(76.1)	(88.4)	(83.3)	-	(100.0)	(100.0)	(93.8)	-	(94.7)	(95.0)	(100.0)	(85.2)	(90.6)															
今年	82.0	87.2	85.1	92.3	77.8	-	100.0	100.0	96.6	-	97.1	92.0	100.0	86.7	90.6															
(E) 進学者数	(17)	(19)	(4)	(6)	(4)	(4)	(3)	(4)	(60)	(62)	(1)	(1)	(10)	(15)	(0)	(12)	(12)	(2)	(2)	(48)	(52)	(42)	(43)	(2)	(3)	(21)	(24)	(226)	(247)	
うち	(33)	37	(11)	13	(32)	39	(17)	20	(238)	251	(2)	2	(32)	40	0	(49)	49	(2)	2	(569)	586	(138)	150	(4)	5	(136)	147	(126)	1,341	
うち	(17)	(18)	(4)	(6)	(4)	(4)	(3)	(4)	(60)	(62)	(1)	(1)	(10)	(15)	(12)	(12)	(2)	(2)	(48)	(52)	(42)	(43)	(2)	(3)	(21)	(22)	(226)	(244)		
うち	(33)	36	(11)	13	(32)	39	(17)	20	(238)	251	(2)	2	(32)	40	(49)	49	(2)	2	(569)	586	(138)	150	(4)	5	(136)	145	(1,263)	1,338		
うち	(0)	(1)																							(0)	(2)	(0)	(3)		
うち	(0)	1																							(0)	2	(0)	3		
うち	(0)																								(0)		(0)	(0)		
うち	(0)																								(0)		(0)	0		
(F) その他	(17)	(3)	(14)	(6)	(1)	(15)	(2)	(21)	(1)	(0)	(2)	(10)	(1)	(5)	(98)															
合計	41	8	50	23	14	112	7	53	5	0	21	25	2	17	378															

- ・ A=C+E+F ・ D=C÷B×100 ・ 上段()は、女子で内数/就職率()は、女子の就職率
- ・ 進学者数〔 〕は、本学進学者で内数。
- ・ 就職者数〔 〕は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者〔 〕」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇医学部については、卒業後2年間の研修期間がある。
- ◇歯学部については、卒業後1年間の研修期間がある。
- ◇薬学部は、4年制(薬科学科)と、6年生(薬学科)がある。(前年度就職率は薬学部全体)

修士課程

項目	文学研究科		法学研究科		経済学研究科		医学研究科		情報科学研究科		水産科学院		環境科学院		理学院		農学院		生命科学院		教育学院		国際広域メディア・観光学院		保健科学院		工学院*		総合化学院		合計	
	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)	人数(名)		
(A) 修了者数	(65)	(9)	(16)	(9)	(16)	(30)	(44)	(17)	(47)	(36)	(18)	(36)	(14)	(33)	(31)	(421)																
(B) 就職希望者数	104	26	28	24	189	112	139	109	151	111	33	50	28	353	141	1,598																
(C) 就職者数	(30)	(4)	(5)	(6)	(15)	(21)	(29)	(11)	(42)	(28)	(12)	(16)	(11)	(28)	(25)	(283)																
うち	53	12	11	14	163	87	104	75	129	83	18	24	21	307	114	1,215																
うち	(0)	(22)	(0)	(3)	(0)	(5)	(1)	(6)	(0)	(14)	(0)	(20)	(0)	(26)	(0)	(10)	(0)	(10)	(0)	(27)	(2)	(11)	(0)	(12)	(1)	(10)	(0)	(28)	(0)	(25)	(4)	(259)
うち	(2)	39	(0)	9	(0)	10	(3)	13	(0)	156	(1)	84	(1)	86	(0)	71	(0)	118	(0)	82	(2)	17	(0)	19	(1)	20	(0)	301	(0)	114	(10)	1,139
うち	(10)	(1)	(4)	(3)	(12)	(16)	(21)	(8)	(34)	(22)	(2)	(7)	(2)	(24)	(20)	(186)																
うち	19	5	8	8	134	70	73	49	98	70	4	10	7	273	101	929																
うち	(4)	(1)	(0)	(2)	(3)	(1)	(1)	(4)	(4)	(9)	(10)	(6)	(6)	(3)	(3)	(4)	(5)	(2)	(2)	(5)	(5)	(3)	(3)	(2)	(2)	(6)	(6)	(66)	(69)			
うち	4	2	2	2	97.1	96.8	93.0	94.6	94.9	97.4	95.7	66.7	100.0	98.7	96.7	95.5																
うち	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(6)	(70)															
うち	(0)	1	(0)	1	(0)	1	(0)	1	(0)	2	(0)	1	(0)	2	(0)	6	70															
うち	(0)															(0)	(1)															
うち	(0)															(0)	1															
うち	(0)															(0)	6															
うち	(0)															(0)	8															
(F) その他	(27)	(5)	(9)	(0)	(1)	(6)	(7)	(1)	(4)	(4)	(5)	(19)	(1)	(3)	(0)	(92)																
合計	40	9	14	5	8	10	25	8	23	9	10	22	1	28	1	213																

- ・ A=C+E+F ・ D=C÷B×100 ・ 上段()は、女子で内数/就職率()は、女子の就職率
- ・ 進学者数〔 〕は、本学進学者で内数。
- ・ 就職者数〔 〕は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者〔 〕」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇工学院には、工学研究科修了者を含む。

専門職大学院

項目	法科大学院 (法学研究科)		会計専門職大学院 (経済学研究科)		公共政策大学院 (公共政策学教育部)		合 計	
	人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)	
(A) 修了者数	(14) 70		(2) 19		(3) 25		(19) 114	
(B) 就職希望者数	(0) 3		(2) 14		(3) 22		(5) 39	
(C) 就職者数	[0] [0]	[0] 3	[0] [0]	(1) 10	(0) [1]	(2) 19	[0] [1]	(3) 32
うち 道外就職者	(0) 1		(1) 10		(1) 10		(2) 21	
うち 有職者	(0) 2		(0) 0		(1) 10		(1) 12	
(D) 就職率(%)	-		(50.0)		(66.7)		(60.0)	
昨年の就職率(%)	100.0		71.4		86.4		82.1	
(E) 進学者数	-		(100.0)		(85.7)		(88.9)	
うち 大学院	100.0		92.9		86.2		88.6	
うち 大学	-		-		-		-	
うち 就職している者	-		-		-		-	
(F) その他	(14) 67		(1) 9		(1) 5		(16) 81	

- ・ A=C+E+F ・ D=C÷B×100 ・ 上段 () は、女子で内数/就職率 () は、女子の就職率
- ・ 進学者数 [] は、本学進学者で内数。
- ・ 就職者数 [] は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者 []」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇法科大学院の (F) その他には、修了後に実施される新司法試験の受験準備者を含む。

博士課程

項目	文学研究科		法学研究科		経済学研究科		医学研究科		歯学研究科		工学院*		獣医学研究科		情報科学研究科		水産科学院		環境科学院		理学院*		農学院*		生命科学院		教育学院*		国際広報メディア・観光学院		保健科学院		総合大学院		合 計					
	人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)		人数(名)							
(A) 修了者数	[12] [25]	[17] [35]	[1] [3]	[1] [6]	[0] [0]	[2] [5]	[0] [4]	[15] [76]	[0] [0]	[11] [37]	[3] [14]	[8] [67]	[0] [3]	[1] [17]	[2] [11]	[7] [54]	[2] [6]	[21] [21]	[7] [7]	[38] [38]	[15] [15]	[54] [54]	[9] [9]	[43] [43]	[6] [6]	[40] [40]	[11] [11]	[19] [19]	[5] [5]	[6] [6]	[1] [1]	[13] [13]	[1] [1]	[27] [27]	[121] [121]	[558] [558]				
(B) 就職希望者数	[6] [16]	[0] [3]	[0] [2]	[0] [5]	[0] [10]	[0] [65]	[0] [25]	[0] [40]	[0] [5]	[0] [5]	[0] [1]	[0] [12]	[0] [5]	[0] [2]	[0] [7]	[0] [29]	[0] [2]	[0] [29]	[0] [7]	[6] [6]	[9] [9]	[0] [0]	[4] [4]	[4] [4]	[7] [7]	[0] [0]	[6] [6]	[0] [0]	[3] [3]	[1] [1]	[5] [5]	[0] [0]	[3] [3]	[18] [18]	[73] [73]					
(C) 就職者数	[4] [4]	[13] [13]	[0] [0]	[3] [3]	[0] [0]	[1] [1]	[29] [29]	[63] [63]	[9] [9]	[25] [25]	[0] [0]	[36] [36]	[4] [4]	[12] [12]	[5] [5]	[45] [45]	[5] [5]	[14] [14]	[13] [13]	[24] [24]	[20] [20]	[25] [25]	[0] [0]	[17] [17]	[18] [18]	[32] [32]	[0] [0]	[11] [11]	[0] [0]	[5] [5]	[5] [5]	[12] [12]	[8] [8]	[23] [23]	[120] [120]	[361] [361]				
うち 道外就職者	[0] [6]	[0] [6]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]			
うち 有職者	[2] [4]	[0] [1]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]		
(D) 就職率(%)	[81.3] [62.5]	[100.0] [100.0]	[0.0] [100.0]	[20.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[96.9] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[90.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[0.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]			
昨年の就職率(%)	[50.0] [62.5]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]	[100.0] [100.0]			
(E) 進学者数	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]		
うち 大学院	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	
うち 大学	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]
うち 就職している者	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]	[0] [0]
(F) その他	[14] [22]	[1] [3]	[2] [4]	[5] [13]	[6] [12]	[5] [31]	[0] [4]	[2] [9]	[4] [7]	[4] [14]	[8] [29]	[9] [26]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	[4] [8]	

- ・ A=C+E+F ・ D=C÷B×100 ・ 上段 () は、女子で内数/就職率 () は、女子の就職率
- ・ 博士の修了者数 [] は、単位修得退学者で内数。(※単位修得退学者も便宜上「修了者」として含める。)
- ・ 進学者数 [] は、本学進学者で内数。
- ・ 就職者数 [] は、正規の職員等でないもので内数。
- ・ 進学者数「うち就職している者 []」は、正規の職員等でないもので内数。
- ◇理学院には、理学研究科修了者を含む。
- ◇農学院には、農学研究科修了者を含む。
- ◇教育学院には、教育学研究科修了者を含む。
- ◇工学院には、工学研究科修了者を含む。

2. 地域別就職状況

学部

平成25年5月1日現在

企業所在地	学部		文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部		歯学部	薬学部		工学部	農学部	獣医学部	水産学部	合計
	就職者数	就業者数						医学科	保健学科		薬科学科(4年制)	薬科学科(6年制)					
北海道	42 (27)	17 (8)	29 (13)	1 (1)	57 (13)	11 (4)	69 (52)	1 (0)	9 (1)	18 (5)	10 (3)	4 (3)	17 (9)	284 (138)			
青森県	18 (13)	9 (7)	19 (4)	1 (0)	1 (1)	8 (3)	22 (14)		4 (3)	23 (3)	3 (1)		10 (2)	123 (53)			
札幌市以外							1 (1)										
東北							1 (1)										
岩手県	1 (1)		3 (0)		2 (0)	1 (0)	1 (1)										
宮城県	1 (1)		1 (0)				1 (0)										
秋田県			1 (0)				1 (1)										
山形県			1 (0)				1 (1)										
福島県					1 (0)												
関東																	
茨城県	2 (1)						1 (1)										
栃木県	1 (0)					1 (0)											
群馬県						1 (0)											
埼玉県	2 (1)	2 (1)	1 (0)		3 (2)		1 (1)										
千葉県	36 (15)	12 (8)	40 (6)		60 (15)	9 (2)	18 (16)										
東京都	3 (3)		1 (0)		1 (0)		2 (1)										
神奈川県	2 (2)		1 (1)		4 (1)	1 (0)	1 (0)										
新潟県			1 (1)		1 (0)	1 (0)	1 (1)										
富山県			1 (1)		1 (0)	1 (0)	1 (1)										
石川県			1 (1)		1 (0)	1 (0)	1 (1)										
福井県					1 (0)		1 (1)										
山梨県	2 (1)		1 (0)		1 (1)	1 (0)	1 (0)										
長野県																	
岐阜県	2 (1)	1 (1)	1 (1)				1 (0)										
静岡県	1 (0)		2 (0)		7 (4)												
愛知県			2 (1)		1 (0)												
三重県					1 (0)												
滋賀県																	
京都府	4 (3)	2 (0)	5 (3)		1 (0)	1 (0)	3 (2)										
大阪府			1 (0)		1 (0)	1 (0)											
兵庫県			1 (0)		1 (0)												
奈良県			1 (0)														
和歌山県																	
中国																	
鳥取県																	
島根県																	
岡山県	1 (0)		1 (0)														
山口県																	
徳島県																	
香川県			1 (1)			1 (0)	1 (1)										
愛媛県																	
高知県	1 (0)				1 (0)		1 (1)										
九州																	
福岡県					1 (0)		1 (1)										
佐賀県																	
長崎県																	
熊本県																	
大分県																	
宮崎県																	
鹿児島県																	
沖縄県																	
海外																	
就職先詳細不明																	
合計	119 (69)	44 (26)	113 (31)	7 (3)	152 (40)	35 (9)	130 (98)	3 (0)	28 (11)	87 (20)	47 (13)	35 (16)	55 (18)	849 (351)			

※ () は女子で内数

修士課程

企業 の所在地	研究科(学院)		文学研究科	法学研究科	経済学研究科	医学研究科	情報科学 研究科	水産科学院	環境科学院	理学院	農学院	生命科学学院	教育学院	国際理工 ・観光学院	保健科学院	工学院*	総合化学院	合計
	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	地域別就職者数
北海道	札幌市	16 (9)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	4 (3)	19 (2)	9 (3)	4 (1)	12 (1)	12 (4)	9 (2)	9 (7)	9 (5)	10 (7)	10 (2)	7 (1)	133 (49)
	札幌市以外	3 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	5 (1)	1 (1)	9 (4)	10 (1)	8 (3)	3 (3)	4 (2)		3 (1)	18 (2)	6 (4)	74 (23)
東北	青森県							1 (0)		1 (0)	1 (0)							2 (1)
	岩手県						1 (0)	1 (0)		2 (0)	1 (1)	1 (1)			1 (1)	1 (0)		2 (0)
関東	宮城県							1 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (1)	1 (1)			1 (1)			9 (4)
	秋田県							1 (0)										0 (0)
北陸	山形県							1 (0)										2 (1)
	福島県	1 (1)				1 (0)						1 (1)						4 (3)
中部	茨城県						2 (1)		2 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (1)						17 (4)
	栃木県		1 (0)						1 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (0)			1 (0)	3 (0)	2 (0)	8 (0)
近畿	群馬県								1 (0)	1 (0)	1 (1)	3 (0)				2 (1)		4 (1)
	埼玉県	3 (1)			1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	6 (3)	3 (1)	2 (2)	3 (0)				2 (0)		13 (2)
中国	千葉県	10 (6)			6 (2)	3 (2)	96 (6)	34 (6)	31 (9)	31 (6)	50 (14)	33 (10)	3 (1)		3 (1)	176 (17)	53 (7)	537 (93)
	東京都	1 (0)				1 (0)	9 (1)	2 (0)	5 (1)	3 (2)	3 (1)	3 (1)				19 (2)	5 (2)	51 (10)
四国	新潟県	1 (1)						1 (0)			1 (0)							4 (2)
	富山県									1 (1)	1 (1)	1 (0)				2 (0)	1 (1)	5 (2)
九州	石川県									1 (0)	1 (0)							2 (0)
	福井県																	0 (0)
海外	山梨県	1 (1)							1 (1)	1 (0)	2 (1)	2 (1)						1 (0)
	長野県	1 (0)						1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (0)			1 (0)	1 (0)	1 (0)	7 (4)
計	岐阜県								1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)						6 (0)
	静岡県						3 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)			1 (0)	2 (0)	2 (0)	14 (2)
合計	愛知県					1 (0)	10 (2)	4 (1)	6 (0)	6 (3)	3 (1)			1 (0)		18 (1)	4 (1)	50 (8)
	三重県							1 (1)	2 (0)	3 (1)	3 (1)							6 (2)
海外	滋賀県							1 (0)	3 (0)		3 (1)							9 (0)
	京都府						2 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (0)	4 (1)	2 (0)				2 (0)	3 (0)	9 (0)
計	大阪府						5 (2)	6 (2)	3 (0)	2 (0)	8 (4)	9 (4)				4 (1)	2 (1)	16 (4)
	兵庫県						1 (0)	5 (1)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	2 (0)				17 (2)	6 (0)	56 (14)
計	奈良県							1 (0)	1 (1)	1 (0)	3 (1)	2 (0)				15 (0)	5 (3)	34 (6)
	和歌山県							1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)			1 (0)	4 (3)
計	鳥取県							1 (0)			1 (0)	1 (0)					1 (0)	5 (0)
	島根県								1 (1)									0 (0)
計	岡山県																	1 (1)
	広島県															1 (0)	1 (0)	2 (0)
計	山口県																	3 (0)
	徳島県							2 (1)										7 (0)
計	香川県																	0 (0)
	愛媛県								1 (0)	1 (0)								2 (0)
計	高知県																	0 (0)
	福岡県	1 (0)					1 (0)				1 (0)	1 (0)				3 (0)		7 (0)
計	佐賀県																	0 (0)
	長崎県								1 (1)									1 (1)
計	熊本県		1 (0)						1 (0)									3 (0)
	大分県																	0 (0)
計	宮崎県																	0 (0)
	鹿児島県																	0 (0)
計	就職先詳細不明	1 (1)																2 (2)
	合計	39 (22)	9 (3)	10 (5)	13 (6)	156 (14)	84 (20)	86 (26)	71 (10)	118 (40)	82 (27)	17 (11)	19 (12)	20 (10)	301 (28)	114 (25)	1,139 (259)	

※()は女子で内数
* : ◇工学院には、工学研究科修了者を含む。

専門職大学院

研究科等 企業の所在地	法科大学院 (法学研究科)	会計専門職大学院 (経済学研究科)	公共政策大学院 (公共政策学教育部)	合 計
	就職者数	就職者数	就職者数	
北海道				
札幌市以外	2 (0)		5 (1)	7 (1)
青森県			4 (0)	4 (0)
岩手県				0 (0)
宮城県				0 (0)
秋田県				0 (0)
山形県				0 (0)
福島県				0 (0)
茨城県				0 (0)
栃木県				0 (0)
群馬県				0 (0)
埼玉県				0 (0)
千葉県				0 (0)
東京都		10 (1)	4 (0)	14 (1)
神奈川県			1 (1)	1 (1)
新潟県			1 (0)	1 (0)
富山県	1 (0)		2 (0)	3 (0)
石川県				0 (0)
福井県				0 (0)
山梨県				0 (0)
長野県				0 (0)
岐阜県				0 (0)
静岡県				0 (0)
愛知県				0 (0)
三重県				0 (0)
滋賀県				0 (0)
京都府				0 (0)
大阪府			2 (0)	2 (0)
兵庫県				0 (0)
奈良県				0 (0)
和歌山県				0 (0)
鳥取県				0 (0)
島根県				0 (0)
岡山県				0 (0)
広島県				0 (0)
山口県				0 (0)
徳島県				0 (0)
香川県				0 (0)
愛媛県				0 (0)
高知県				0 (0)
福岡県				0 (0)
佐賀県				0 (0)
長崎県				0 (0)
熊本県				0 (0)
大分県				0 (0)
宮崎県				0 (0)
鹿児島県				0 (0)
沖縄県				0 (0)
海外				0 (0)
就職先詳細不明				0 (0)
合 計	3 (0)	10 (1)	19 (2)	32 (3)

※ () は女子で内数

博士課程

企業の所在地	研究科(学院)		文学研究科	法学研究科	経済学研究科	医学研究科	歯学研究科	工学院*	獣医学研究科	情報科学 研究科	水産科学 院	環境科学 院	理学院*	農学院*	生命科学 院	教育学院*	国際キャリア 大学院	保健科学 院	総合化学 院	地域別就職者数	合 計
	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	就職者数	
北海道	3 (2)	3 (0)																			
札幌市以外	3 (1)	1 (0)																			
東北	1 (0)							1 (0)													
青森県																					
岩手県																					
宮城県																					
秋田県																					
山形県																					
福島県																					
茨城県																					
栃木県																					
群馬県																					
埼玉県																					
千葉県																					
東京都	1 (0)																				
神奈川県																					
新潟県																					
富山県																					
石川県																					
福井県																					
山梨県																					
長野県																					
岐阜県																					
静岡県																					
愛知県																					
三重県																					
滋賀県																					
京都府	1 (0)																				
大阪府																					
兵庫県																					
奈良県																					
和歌山県																					
鳥取県																					
島根県																					
岡山県																					
広島県																					
山口県																					
徳島県																					
香川県																					
愛媛県																					
高知県																					
福岡県																					
佐賀県																					
長崎県																					
熊本県																					
大分県																					
宮崎県																					
鹿児島県																					
沖縄県																					
海外																					
就職先詳細不明	2 (0)																				
合 計	13 (3)	3 (0)	1 (0)	63 (10)	25 (5)	36 (3)	12 (1)	45 (5)	14 (2)	24 (7)	25 (9)	17 (4)	32 (7)	11 (6)	5 (3)	12 (5)	23 (3)	4 (2)	37 (12)	1 (0)	361 (73)

※()は女子で内数
 * : ◇工学院には、工学研究科修了者を含む。
 ◇理学院には、理学研究科修了者を含む。
 ◇農学院には、農学研究科修了者を含む。
 ◇教育学院には、教育学研究科修了者を含む。
 (学務部キャリアアセンター)

編集メモ

●昨年に引き続き、第2回目となるホームカミングデーを、9月28日(土)に札幌キャンパスで開催します。全学行事の記念講演会では、鳥インフルエンザ研究で著名な喜田 宏名誉教授をお迎えします。

また、6月21日(金)には、「ホームカミングデー2013」の特設サイトがオープンしました。サイトでは、昨年

の様を写真や動画で紹介しています。今後、詳細について順次アップしていきますので、ぜひご覧ください！





2010. 6. 5 富良野線 美瑛～美馬牛（美瑛町）

北の鉄道風景 3 初夏の丘陵風景

美瑛町から富良野市の一帯は、日本離れした丘陵風景を楽しむことができる、北海道を代表する観光地だ。旭川と富良野を結ぶ富良野線は、美瑛・富良野を訪れる観光客の移動手段として重要な役割を果たしている。この路線を走る列車と丘陵風景の組み合わせを撮影することは簡単なようで難しい。というのは、丘と丘との間の谷間、見通しのきかない場所を縫うように線路が布設されていたり、防雪のた

めの植林で線路が遮られてしまったりするからだ。写真は、「赤い屋根の丘」として有名な丘の上から撮影したものである。数年前に、この丘の下を通る線路脇の植林が伐採されたことで、ここは丘陵風景を背景に駆ける列車を撮影できる貴重な場所となった。

情報科学研究科 准教授 山本 学

北大時報 ⑥ No.711 平成25年6月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-4870 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp
北大時報はインターネットでもご覧いただけます。http://www.hokudai.ac.jp/bureau/populi/